

昭	正	治	明
<p>四〇年 前</p> <p>昭和40年・小名浜の港が大きくなり商港となる</p> <p>昭和39年・いわきが新さんぎょう都市になる</p> <p>昭和36年・じょうばん共同火力発電所ができる</p> <p>昭和25年・いわき共立病院がうちこうにできる</p> <p>昭和22年・新しい中学校が各地にできる</p> <p>昭和19年・呉羽化学工場ができる</p>	<p>七〇年 前</p> <p>昭和18年・じょうばん交通自動車会社ができる</p> <p>大正6年・平でハイヤーがはじめられた</p> <p>・ばんえつ東線（平〜郡山）がしかれた</p>	<p>九〇年 前</p> <p>昭和38年・じょうばん線（平〜上野）が電化される</p> <p>昭和33年・じょうばん線（平〜上野）にジーゼルカーがおるようになる</p> <p>昭和30年・じょうばん線（そのころは海岸鉄道といわれていた）がしかれた</p> <p>昭和22年・各地の小さな村が集まって、小名浜町・四倉町・豊間村など38の村ができる</p> <p>昭和16年・平町ができる</p> <p>昭和16年・各地に小学校がつくられる</p> <p>昭和16年・そのころの石炭は牛や馬につんで、小名浜へ送った</p>	<p>一〇〇年 前</p> <p>昭和38年・福島テレビが放送をはじめ</p> <p>昭和28年・NHKテレビが放送をはじめ</p> <p>・ラジオ福島ができる</p> <p>昭和16年・平にNHK放送局ができる</p> <p>大正10年・水道（のみ水）が平にひかれた</p> <p>昭和42年・電話が平ではじめて使われる</p> <p>昭和40年・いわきにも自転車が見られる</p> <p>・電とうが平にはじめてつく</p> <p>昭和39年・平が大火事になる</p> <p>昭和32年・いわきの各地に大こう水がある</p> <p>昭和16年・いわき炭こう会社ができ、石炭を大きほにほりだす</p> <p>昭和5年・平にゆうびん局ができ、手紙などの仕事をはじめ</p>